

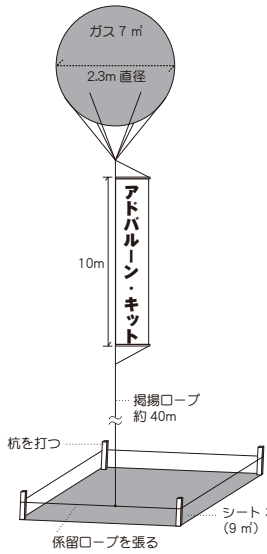
アドバルーン の 揚げ方

1 アドバルーンを揚げるときの注意点

- 電信柱、電線、電話線、アンテナ等、樹木、建物等障害になるものはないが、十分に確認すること
- 風速は秒速 6~7m/s 以内とし、気球が垂直に対して、45 度傾く時は直ちに中止すること。(横風は相当強い風圧を受けます。)
- 地域によりまして、屋外広告物の届け出の必要な場所もあります。
- ガスは、ヘリウムガスを必ず使用してください。水素ガスは爆発の危険があり、消防に届け出が必要となります。ヘリウムガスの場合、届け出などは必要ありません。
- 気球はビニール製ですので、何かと接触したり、地上を転がしたり、引きずったりすると簡単に穴が開きますので、十分に注意してください。出来れば左図の様に

- ① 3m 角のシートを敷きます。
- ② 4 本の杭を打ち込んでください。
- ③ 係留ロープを張ります。
- ④ 気球を掲揚してください。

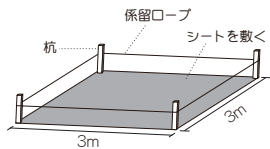
その場合、穴を開ける恐れのある針金などは、絶対に使わないでください。



2 アドバルーン の 揚げ方

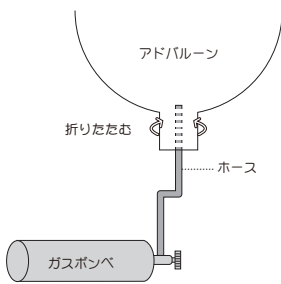
アドバルーンはヘリウムガスを使用します。2.3m 直径の気球に約 7 m³のガスが入ります。セルフキットセットのヘリウムガス丁度 1 本分となります。(浮力は約 4kg 程出ます。)
風の強いとき(風速 7m を超えるとき)、気球が 45 度以上傾くときはただちに掲揚を中止してください。強風の時は相当の風圧を受けますので必ず守ってください。アドバルーンを揚げるときには必ず 2 人以上で作業し、絶対にアドバルーンが飛んでいかなないように十分注意してください。

- 1 掲揚場所を設定します。約 3m 角の場所を確保して、4 角に杭を打ちます。4 本の杭を係留ロープでしっかりと固定し、シートを拡げてください。



- 2 アドバルーンをシートの上に拡げます。

- 3 ヘリウムガスポンペにホースを取り付けて、ホースの片方をアドバルーンの口に 10cm 位入れます。そのとき口を折り畳むようにして、ガスが漏れないようにしっかりと手で固定してください。



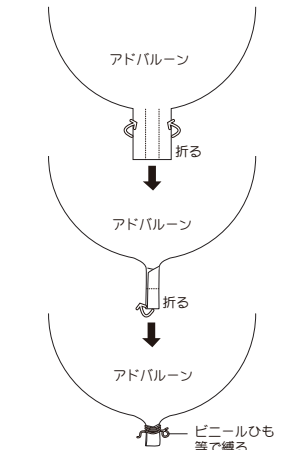
- 4 ポンペのコックをゆっくり開いて、ヘリウムガスをアドバルーンにゆっくりと少しずつ入れていきます。(ガス圧が高いので急にコックを開くとアドバルーンが破裂する恐れがあります。ゆっくりと入れてください。)

- 5 浮力が出て浮き上がりましたら、掲揚ロープ(40m)をアドバルーンの 6 本の紐としっかりと結んでください。ここが外れるとアドバルーンが飛んでいってしまいますので、ご注意ください。

- 6 掲揚ロープの片方を安全のため、係留ロープ等に固定しておいてください。

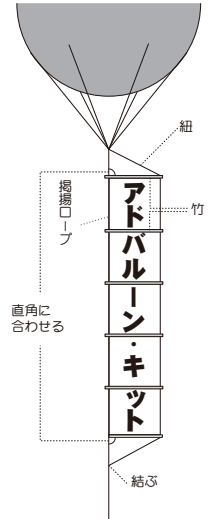
- 7 ヘリウムガスを、ヘリウムガスがアドバルーンがいっぱいに膨らむように入れてください。セットのポンペ 1 本で、だいたい丁度いいくらいになります。

- 8 アドバルーンの口をビニールの紐でしっかりと結び、ヘリウムガスが漏れることのないように注意してください。

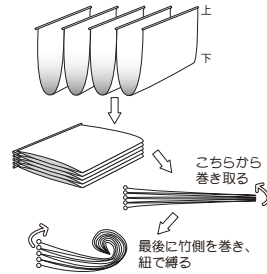


3 文字ネットの取り付け方

- 1 文字ネットの上下を確認し、上部文字ネットの竹の棒に付いている紐を、アドバルーン下部に結びます。
- 2 アドバルーンを少し揚げて、竹の棒を掲揚ロープと直角になるように固定してください。
- 3 文字ネットの他の部分も掲揚ロープに固定していきます。ロープに対して、ネットが緩まないように注意して固定してください。
- 4 最下段の竹を固定し、竹の棒の紐をロープに縛ってください。
- 5 掲揚ロープを伸ばして完成です。掲揚ロープは約 40m ありますが、30m も揚げますと遠くからも文字の認識が出来ると思います。掲揚ロープの固定は間違っても飛んで行ってしまうように、2 重 3 重の安全を考え絶対に外れないように十分に注意をしてください。



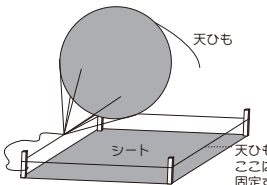
4 アドバルーンを係留する場合



- 1 掲揚と逆の順番で、下部から文字ネットを外していきます。

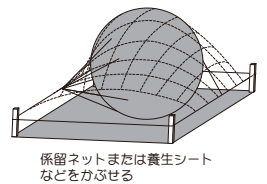
- 2 ネットが絡みつかないように注意しながら外し、左図の様に重ねて下部から巻き取り、最後に竹の部分を重ねて紐で縛っておきます。(次の設営が簡単です)

- 3 係留ロープの真ん中に、アドバルーン下部の掲揚ロープを固定し、天ひも(アドバルーン頂上についている紐)を反対側の係留ロープに固定します。アドバルーンは横に寝た形となります。



- 4 係留ネット、または養生ネット等をかぶせ、四隅をロープ等で固定してください。

- 5 再び掲揚する場合は逆の手順で行ってください。



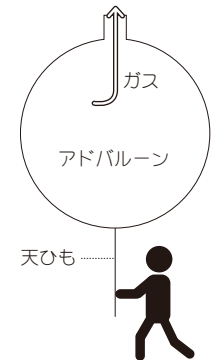
5 終了して片付ける場合

- 1 文字ネットを外しながら、アドバルーンを下げっていきます。

- 2 アドバルーンの口を縛っていたビニールの紐を解きます。

- 3 ヘリウムガスは空気よりも軽いため天ひもを持つと、アドバルーンは口を上にして逆立ちします。そのままガスが抜けるのを待ちます。

- 4 ガスが抜けたら、次回にも手順よく掲揚出来るようにきちんと折り畳んで保管します。



!!!! 穴が開いた場合 !!!!!

アドバルーン(丸球)は薄いビニール製ですので、ぶつけたりこすれたりすると穴が開く場合があります。その際は、幅広のビニールテープ等で穴を塞いでください。ボンドは接着部が固くなりますので、使用しないでください。
修理のご依頼 ビー・スマイル TEL : 03-3943-4311